

令和2年8月19日

産業経済局 観光課

## 第三セクターの経営情報について

報告対象団体		皿倉登山鉄道株式会社
会社概要	会社の事業概要	1 鋼索鉄道事業（ケーブルカーの運行） 2 その他事業（スロープカーの運行、展望台の管理）
	資本金額	10,000 千円
	本市の出資額	10,000 千円
	本市の出資割合	100 %
	従業員数	6 人
営業報告の要点		<p>1 施設利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルカー：206,925 人（前年度比 21,751 人減）</li> <li>スロープカー：179,192 人（前年度比 21,490 人減）</li> </ul> <p>2 集客対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「新日本三大夜景」である皿倉山の夜景の魅力を発信</li> <li>金曜日の夜間運行の実施</li> <li>国内外の旅行社等への売り込み・連携</li> <li>皿倉山パノラマ夜景観賞ミニツアーや夏のピアガーデン等の四季折々のイベントの開催</li> <li>マスコミ・情報誌等への積極的なPR活動の実施</li> </ul> <p>3 「経営改善計画」の継続と人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「経営改善計画」に基づき、収益や利用者サービスの向上に努め、安全を第一に良質な運行サービスの提供を継続</li> <li>夜間運行の増便など営業時間増等に対する人員確保や人材育成</li> </ul>
収支状況の要点	当期純利益	2,849 千円
	前年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業収益：142,134 千円（前年度比 5,242 千円減）</li> <li>営業費用：140,871 千円（前年度比 16,712 千円増）</li> <li>経常利益：2,912 千円（前年度比 21,888 千円減）</li> <li>当期純利益：2,849 千円（前年度比 21,870 千円減）</li> </ul>
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	<p>1 主な設備投資等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山麓駅舎整備（トイレの洋式化、屋根の全面改修）</li> <li>皿倉山頂のネットワークカメラの設置</li> </ul> <p>2 資金調達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当期は、新たな資金調達は行っていない</li> </ul>
繰越利益剰余金		80,413 千円
株主総会 （令和2年7月3日開催）	監査報告	監査役2名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1) 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 第64期（平成31年4月1日～令和3年3月31日）事業報告、計算書類及び附属明細書承認の件</li> <li>第2号議案 取締役及び監査役の任期満了に伴う選任の件</li> </ul> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度皿倉登山鉄道株式会社事業概要報告の件</li> </ul> <p>いずれの案件も原案どおり承認、可決された。</p>

皿倉山登山鉄道株式会社

令和元年度 経営状況報告

令和2年8月19日  
産 業 経 済 局

# 事業報告

自平成31年4月1日  
至令和2年3月31日

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当期は、北九州市の夜間観光に資するために、それまで土曜、日曜、祝日及びイベント期間中に行っていた夜間運行を、平日の金曜日にも行いました。（なお、メンテナンス時間の確保のため、祝日とイベント期間中を除く火曜日を運休としました。）しかしながら、日韓関係の悪化から年度当初より韓国からの利用客が減少しており、さらには、平成13年に更新したケーブルカーの大規模オーバーホールを2月17日から3月31日まで行い、その間は運休としております。

#### ① 輸送人員

輸送人員は、韓国からの利用客の減少やケーブルカーの大規模オーバーホール期間中の運休のため、ケーブルカーでは前期比約22千人、9.5%減の206,925人となりました。スロープカーでは前期比約21千人、10.7%減の179,192人となりました。

(輸送人員対比表)

(単位:人)

区分	平成30年度	令和元年度	対前期増減	前期比(%)
ケーブルカー	228,676	206,925	△21,751	90.5
スロープカー	200,682	179,192	△21,490	89.3
計	429,358	386,117	△43,241	89.9

#### ② 営業損益

営業収益は、1億4,213万円（前期比524万円減）となりました。

営業費は1億4,087万円（前期比1,671万円増）となり、当期の営業損益は126万円（前期比94.6%・2,195万円減）の黒字となりました。

#### ③ 経常損益

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、291万円（前期比88.3%・2,189万円減）の黒字となりました。

#### ④ 当期純損益

上記経常損益に特別損益を加え法人税等を差し引いた当期純損益は、285万円（前期比88.5%・2,187万円減）の黒字となりました。

## (損益計算対比表)

(単位:千円、端数四捨五入)

区 分	平成 30 年度	令和元年度	対前期増減	前期比(%)
営業収益	147,376	142,134	△5,242	96.4
営業費	124,159	140,871	16,712	113.5
営業損益	23,217	1,263	△21,954	5.4
営業外収益	1,807	2,313	506	128.0
営業外費用	224	665	441	296.9
営業外損益	1,583	1,648	65	104.1
経常損益	24,800	2,912	△21,888	11.7
特別利益	—	18	18	—
税引前当期純利益	24,800	2,930	△21,870	11.8
法人税等	81	81	—	100.0
当期純損益	24,719	2,849	△21,870	11.5

## (2) 設備投資等の状況

当事業年度中に購入、完成した主要設備	(単位:千円)
・山麓駅トイレ全面改修	8,421
・山麓駅屋根全面改修	6,480
・皿倉山頂ネットワークカメラ	1,000
・パソコン(8台)	978
・山麓駅PR用ビジョンテレビ	497
・社用車(スバルXV)	2,599

## (3) 財産及び損益の状況の推移

(単位:千円、端数四捨五入)

期 別 項 目	第 61 期	第 62 期	第 63 期	第 64 期
	〔自H28年4月1日 至H29年3月31日〕	〔自H29年4月1日 至H30年3月31日〕	〔自H30年4月1日 至H31年3月31日〕	〔自H31年4月1日 至R2年3月31日〕
営業収益	138,347	140,145	147,376	142,134
鋼索鉄道事業	96,424	95,749	100,392	98,485
その他事業	41,923	44,396	46,984	43,649
経常利益	20,228	21,518	24,800	2,912
当期純利益	20,147	21,537	24,719	2,849
1株当たり当期純利益	5円99銭	6円40銭	7円34銭	85銭
総資産	140,878	153,216	172,147	190,272
純資産	41,308	62,846	87,565	90,413

#### (4) 経営改善、安全運行及び観光振興等

##### ① 経営改善

当社においては、平成 22 年度からの「経営改善計画」に基づき、23 年度に市からの出資金の減資の実施により、それまでの 16 億円を超える累積損失を一掃するとともに、24 年度には減価償却費、維持管理費等の軽減を図るため、ケーブルカー等の事業資産の市への無償譲渡を行いました。

この資産譲渡にともなう減損処理により生じた欠損金についても、経営改善計画に基づく配置人員の見直しによる大幅な人件費の削減や営業強化による収益の向上などにより、平成 27 年度末には解消しました。平成 24 年度以降毎年安定して利益を計上しており、当期末利益剰余金は 8,041 万円となっております。

##### ② 安全運行遵守

「令和元年度無事故達成」をスローガンに、

- ・ 安全意識醸成、日常的な現場巡視による実情の把握と業務マニュアルの実践・遵守の徹底、
  - ・ 車両、運転施設の徹底的な点検、整備の実践、
  - ・ 同種事業や関連会社との情報交換会などの研修を通じたスキルアップを図り、
- 自然災害による運休はあったものの人的な事故はありませんでした。

##### ③ 集客及び賑わい振興

###### ア 「恋人の聖地」のPR、夜景の魅力発信

全国ブランドの恋人の聖地プロジェクトに参画し、併せてケーブルカー神社（恋愛成就、安全祈願等）を設置しており、恋人の聖地とのタイアップによる話題作りを行いながら、全国に皿倉山と「新日本三大夜景」としての夜景の魅力を発信してきました。

また、本市の夜間観光に寄与できるよう当期より金曜日の夜間運行も開始しており、10 月には市の「夜景キャンペーン 2019」に協力して「皿倉山パノラマ夜景鑑賞ミニツアー」を実施しました。

###### イ イベント等企画事業

「星空ピアガーデン」「GWスペシャルライブ」「ミュージックフェスタ」「サタデーナイトライブ」「クリスマスライブ」などの音楽イベント、「フォトコンテスト」「ハーブ王子山下智道と歩く皿倉山の自然と野草」「森のがっこう」「皿倉観望会(天体観測)」「愛を叫ぶ大声コンテスト」「仲秋のお月見会」「バレンタイン大作戦」等のイベント、並びに「星空案内人～星のソムリエ資格認定講座」を引き続き実施し、集客及び賑わいづくり、観光振興に努めてまいりました。

## ウ 集客・広報の取り組み

多くのホテルとの連携により「ホテル優待」等の宿泊パック商品の普及に努め、遠足・社会見学先として多くの県内小学校の利用促進にも努めてまいりました。

さらに、着実に実績の上がっている台湾からの利用客取り込みのために現地旅行社へのPRを行いました。また、CATVやラジオ、ダイレクトメール、新聞・テレビ・情報誌・市広報誌、インターネット等各種メディアを活用して、イベント・営業情報などタイムリーで効果的なPRに努めてまいりました。

### ④ 利用者サービスの向上

当期は特に以下の利用者サービス向上を行いました。

- ・皿倉山頂からの眺望の状況を24時間リアルタイムで確認できるよう、山頂にライブカメラを設置しHP及びネット上での配信事業を開始しました。
- ・山麓駅において、トイレブースの拡充、洋式化等トイレの全面改修を行いました。
- ・皿倉山からの眺望のすばらしさをPRするため、山麓駅ロビーにて利用者が4Kドローンの映像を楽しめるよう、ビジョンテレビセットを設置しました。

### ⑤ 人材育成

職員の高齢化、求人難の中、車両保全等の専門技術者の育成、及び夜間運行の増による営業時間拡大に対応する人員確保が急務となっており、安全運行の継続、観光振興の継続、及び利用者サービスの向上等のためにも、人員確保、人材育成に努めてまいりました。

そのための、職員の待遇改善、計画的、効果的な採用、職員研修の充実等に努めてまいりました。

### ⑥ 来期の計画等

令和2年度より、さらに本市の夜間観光に資するため通年で夜間運行を行うこととし、4月から10月までは夜10時まで、11月から3月までは夜8時まで夜間運行を行うこととしています。

(但し、メンテナンス時間の確保のため、祝日、イベント期間中を除く火曜日は運休とします。)

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により4月当初より感染拡大防止のため休業を強いられており、今後の状況も不透明な中にあります。

イベント開催も含め、今後の事業計画等を確定できない状況であり、新型コロナウイルス感染拡大の状況次第となっている現状においては、政府及び関係機関並びに北九州市の指導・指針に沿って感染防止に最善の努力をしていながら、その時々状況下に適切に対応しながら安全、安心のサービスを提供してまいります。

## 2. 会社概要

### (1) 主要な事業内容

- ・鋼索鉄道事業 ケーブルカーの運行
- ・その他事業 スロープカーの運行、展望台の管理

### (2) 事業所の状況

主要な事業所

本社 北九州市八幡東区大字尾倉 1481-1

### (3) 従業員の状況

(令和2年3月31日現在)

従業員数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男性	3名	—	54.7歳	4.2年
女性	3名	—	40.0歳	7.6年
計又は平均	6名	—	47.3歳	5.9年

(注) 上記従業員は常勤嘱託職員。それ以外に時間給非常勤嘱託職員 31 名を採用しております。

### (4) 借入金の状況

(単位：千円)

	借入残高	借入先
短期借入金	—	—
長期借入金	51,200	北九州市

(注) 当事業年度の所用資金は自己資金を充当しており、運転資金の調達は行っておりません。

## 3. 株式に関する事項

(1) 発行済株式の総数 3,366,000 株

(2) 株主数 1名

(3) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
北九州市	3,366,000 株	100 %

### (4) 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役

(令和2年3月31日現在)

地 位	氏 名	他の法人等の代表状況等
代表取締役	吉田茂人	
取締役	大下徳裕	北九州市企画調整局長
取締役	小林一彦	北九州市総務局長
取締役	小牧兼太郎	北九州市財政局長
取締役	高松浩文	北九州市保健福祉局長
取締役	鮎川典明	北九州市産業経済局長
取締役	東義浩	北九州市建設局長
取締役	上田浩	北九州市八幡東区長
取締役	柴田憲志	北九州市八幡西区長
監査役	小島智也	公認会計士
監査役	久保田裕明	北九州市産業経済局地域・観光産業振興部長

(注) 1. 取締役は全員、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

2. 監査役は全員、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

3. 監査役 小島智也氏は、公認会計士の資格を有し、財務及び会計に関する知見を有するものであります。

監査役 久保田裕明氏は、北九州市産業経済局地域・観光産業振興部長で、財務に関する相当程度の知見を有するものであります。

4. 当期中の取締役、監査役の異動は、以下のとおりであります。

平成31年4月1日就任（第116回臨時株主総会） 鮎川典明、東義浩、上田浩、柴田憲志、久保田裕明

令和元年6月28日就任（第63期定時株主総会） 吉田茂人

### (2) 取締役及び監査役ごとの報酬額の総額

取締役1名 6,288千円

## 5. 会社の体制及び方針

下記「内部統制基本方針」に基づき適切に職務を執行しております。

### (1) 取締役・社員の職務執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

コンプライアンス体制に関する規程を、役職員が法令・定款及び社会規範を遵守した行動をとるための行動規範とする。また、その徹底を図るため、総務課においてコンプライアンスの取り組みを横断的に総括することとし、同課を中心に役職員教育等を行う。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

取締役の職務の執行に係る情報を文書又は電磁的媒体に記録し、保存する。取締役及び監査役は、常時これらの文書等を閲覧できるものとする。

**(3) 損失の危険の管理に関する規定その他の体制**

コンプライアンス、災害等に係るリスク等について、組織横断的リスク状況の監視及び全社的対応は総務課が行い、各課所管業務に付随するリスク管理（規則、ガイドラインの制定、研修の実施等）は各課が行うこととする。

**(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制**

社内規則の規定に基づく職務権限及び意思決定ルールにより、適正かつ効率的に職務の執行が行われる体制をとることとする。

**(5) 会社における業務の適正を確保するための体制**

セグメント別の事業に関して責任者を定め、法令遵守体制、リスク管理体制を構築する権限と責任を与えており、総務課はこれらを横断的に推進し、管理する。

## 貸 借 対 照 表

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
流 動 資 産	161,340,991	流 動 負 債	52,662,636
現金及び預金	129,366,200	買 掛 金	858,000
未 収 入 金	26,195,637	一年内返済予定長期借入金	5,099,999
商 品	1,152,755	未 払 金	45,187,307
貯 蔵 品	4,116,150	預 り 金	148,750
立 替 金	93,569	仮 受 金	21,580
前 払 費 用	49,080	未 払 法 人 税 等	81,000
仮 払 消 費 税 等	367,600	賞 与 引 当 金	1,266,000
固 定 資 産	28,931,011	固 定 負 債	47,196,015
鋼索鉄道事業固定資産	26,478,512	長 期 借 入 金	46,100,015
その他事業固定資産	2,354,469	退 職 給 付 引 当 金	1,096,000
投資その他の資産	98,030		
出 資 金	10,000	負 債 合 計	99,858,651
長期前払費用	88,030	( 純 資 産 の 部 )	
		株 主 資 本	90,413,351
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	80,413,351
		その他利益剰余金	80,413,351
		繰越利益剰余金	80,413,351
		(うち当期純利益)	2,848,792
		純 資 産 合 計	90,413,351
資 産 合 計	190,272,002	負 債 ・ 純 資 産 合 計	190,272,002

## 損 益 計 算 書

〔 自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日 〕

(単位：円)

科 目	金 額	
鋼 索 鉄 道 事 業		
営 業 収 益	98,484,695	
営 業 費	116,601,672	
営 業 損 失		18,116,977
そ の 他 事 業		
営 業 収 益	43,649,418	
営 業 費	24,269,034	
営 業 利 益		19,380,384
全 事 業 営 業 利 益		1,263,407
営 業 外 収 益		2,312,849
受 取 利 息 及 び 配 当 金	28,300	
雑 収 入	2,284,549	
営 業 外 費 用		664,640
支 払 利 息	197,049	
雑 支 出	467,591	
経 常 利 益		2,911,616
特 別 利 益		18,180
固 定 資 産 売 却 益	18,180	
特 別 損 失		4
固 定 資 産 除 却 損	4	
税 引 前 当 期 純 利 益		2,929,792
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		81,000
当 期 純 利 益		2,848,792

## 株主資本等変動計算書

〔 自 平成31年4月1日  
至 令和2年3月31日 〕

(単位：円)

	株 主 資 本				純 資 産 合 計
	資 本 金	利益剰余金		株主資本 合 計	
		その他利益 剰 余 金	利益剰余金 合 計		
	繰越利益 剰 余 金				
当期首残高	10,000,000	77,564,559	77,564,559	87,564,559	87,564,559
当期変動額					
当期純利益		2,848,792	2,848,792	2,848,792	2,848,792
当期変動額合計	—	2,848,792	2,848,792	2,848,792	2,848,792
当期末残高	10,000,000	80,413,351	80,413,351	90,413,351	90,413,351

# 個別注記表

## 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 商品 …………… 最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により評価しております。
- ② 貯蔵品 …………… 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により評価しております。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く） …………… 定額法
- ② リース資産 …………… 所有権移転外ファイナンス・リース取引であり、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。  
なお、1件当たりのリース料総額が300万円以下のものについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

### (3) 引当金の計上基準

- ① 賞与引当金 …………… 従業員に支給する賞与に充てるため、支給見込額を計上しております。
- ② 退職給付引当金 …………… 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。なお、退職給付見込額は、退職給付会計基準に定める簡便法（退職給付に係わる期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法）を採用しております。

### (4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税については、税抜方式によっております。

## 2 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 35,272,352 円

なお、減価償却累計額には減損損失累計額を含んでおります。

### (2) 固定資産科目ごとの総額

有形固定資産	建物	6,463,800 円
	建物附属設備	8,682,891 円
	構築物	4,769,479 円
	車両	4,178,432 円
	工具器具備品	4,407,479 円
	リース資産	0 円
無形固定資産	電話加入権	134,900 円
	ソフトウェア	196,000 円

### (3) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	25,562,981 円	(業務委託料未収入金)
短期金銭債務	5,099,999 円	
長期金銭債務	46,100,015 円	

## 3 損益計算書に関する注記

### (1) 営業収益の内訳

鋼索鉄道事業	98,484,695 円
その他事業	43,649,418 円

### (2) 営業費の内訳

運送営業費及び売上原価	117,281,786 円
販売費及び一般管理費	18,988,539 円
諸 税	317,200 円
減 価 償 却 費	4,283,181 円

### (3) 関係会社との取引高

営業取引による取引高	41,392,656 円
営業取引以外による取引高	197,049 円

## 4 株主資本等変動計算書に関する注記

### 当該事業年度の末日における発行済株式の種類及び株式数

普通株式	3,366,000 株
------	-------------

## 5 リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約にしております。

## 6 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については安全性の高い預金等に限定し、北九州市からの借入により資金を調達しております。借入金の使途は主として設備投資資金であります。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

令和2年3月31日(当事業年度の決算日)における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：円)

科 目	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金及び預金	129,366,200	129,366,200	—
長期借入金 (1年内返済予定の長期借入金を含む。)	(51,200,014)	(50,140,220)	(△1,059,794)

(注1) 負債に計上されているものについては、( ) で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法

・現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

・長期借入金 (1年内返済予定の長期借入金を含む。)

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

## 7 関連当事者との取引に関する注記

### (1) 親会社及び法人主要株主等

(単位：円)

属 性	会社等の名称	議決権等所有の(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科 目	期末残高
主要株主 (会社等)	北九州市	被所有 直接 100%	業務委託の 締結  役員の兼任	業務の受諾 (注1)	41,392,656	未収入金	25,562,981
				資金の借入 (注2) 利息の支払	— 197,049	長期借入金 (1年内返済予定の長期借入金を含む。)	51,200,014

(注) 1. 業務の受諾については、市場の実勢価格も勘案しながら価格交渉を行い、決定しております。

2. 資金の借入については、市場金利を勘案して決定しており、返済条件は20年であります。なお、担保は提供しておりません。

3. 取引金額には、消費税等は含まれておりません。

## 8 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 26円86銭

(2) 1株当たり当期純利益額 85銭

## 監 査 報 告

第64期事業年度の計算書類とその附属明細書の監査について、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容

会計帳簿その他会計に関する重要な文書を開覧し、当社の取締役から会計に関する職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

計算書類とその附属明細書は、当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

令和2年6月10日

監 査 役 小 島 庸 国

監 査 役 久保田 裕 明

## 第2号議案 取締役及び監査役の任期満了に伴う選任の件

1 取締役の任期満了に伴い、下記のとおり後任の取締役を選任するものです。

- (1) 現任期満了日 第64期定時株主総会終結時
- (2) 新任期間 自 第64期定時株主総会終結時 (令和2年7月3日)  
至 第66期定時株主総会終結時 (令和4年6月末予定)
- (3) 候補者 下記のとおり

氏名 (生年月日)	他の法人等の代表状況
吉田茂人 [REDACTED]	(代表取締役)
大庭千賀子 [REDACTED]	北九州市企画調整局長
小牧兼太郎 [REDACTED]	北九州市財政局長
鮎川典明 [REDACTED]	北九州市産業経済局長
東義浩 [REDACTED]	北九州市建設局長
上田浩 [REDACTED]	北九州市八幡東区長

(注) 吉田茂人氏以外は全員社外取締役候補者

2 監査役の任期満了に伴い、下記のとおり後任の取締役を選任するものです。

- (1) 現任期満了日 第64期定時株主総会終結時
- (2) 新任期間 自 第64期定時株主総会終結時 (令和2年7月3日)  
至 第68期定時株主総会終結時 (令和6年6月末予定)
- (3) 候補者 下記のとおり

氏名 (生年月日)	他の法人等の代表状況
小島庸匡 [REDACTED]	公認会計士・小島公認会計士事務所
久保田裕明 [REDACTED]	北九州市産業経済局地域・観光産業振興部長